

(様式 2)

女性の就農環境改善計画

実施主体名	農事組合法人 アグリ ONE (山梨県)
取組	(1) 女性が働きやすい環境整備に向けた施設等の確保
構成員数	6名(うち、女性の人数:0名)(令和4年4月時点)

1 事業実施方針

【地域の状況】当地域はモモとブドウを主要作物とする果樹の一大産地である。生産者の高齢化、担い手不足という課題はあるものの、都市消費圏からのアクセスも良く、近年ブドウのシャインマスカットや県オリジナルモモ・ブドウ新品種等の人気の高まりとともに農業体験、就農希望者やパート等の問い合わせが男女問わず増加してきている。山梨県では年間300人を超える新規就農者が法人就職または経営を開始している。今後はさらに多様な人たち、とくに女性の活躍がますます期待され、女性の人材育成や積極的登用を行い活躍の場を増やすことは重要かつ将来の地域農業に大きく貢献されるものと考えられる。

【事業で解決したい具体策】実施主体の農事組合法人アグリ ONE は果樹農業経営の就農支援を主要事業として行っているがこれまでの研修受け入れは男性が大半であったため、女性農業者に対する職場の環境整備については不備な点が多く課題となっている。とくにトイレについては老朽化が進み匂い等が大きな問題となっているので環境にも配慮した女性専用のバイオトイレを設置し、女性の働きやすい環境を目指すこととしたい。

【事業実施後の効果と地域の未来】女性専用のバイオトイレの設置により、「ここで働きたい」、「ここは働きやすい」という効果を生むと考えられる。とくに女性に対する訴求力は高いと考え、安全や衛生レベルの向上が図られるだけでなく、利用者の農業イメージ、環境意識の向上も期待できる。このような職場環境の改善により効率の良い経営にもつながり、他地域への波及効果、地域で果樹農業者を目指す者の増加、産地の維持成長といった効果が期待できる。

(注) 具体的に記載してください。

2 女性就農環境改善に向けた実施体制

実施主体の農事組合法人アグリ ONE は、モモ、ブドウを主とする果樹農業経営者により構成されている。2012年の設立当初より年間1人~2人程度の果樹就農希望者を国、県市町村、JAの制度支援を得るなか指導、定着にむけた取り組みを行っている。2022.4時点で国の旧青年給付金事業、現農業次世代人材投資資金を活用した女性1名が研修中である。また地域大学との連携による女子大生アルバイト、女性パート、農福連携の女性作業者の受け入れも行っている。

【本事業の実施体制】

事業管理責任者：代表理事

環境整備計画立案：総務、事務局

環境整備施工責任者：事務局

女性の活躍および定着推進：事務局、指導教育担当

(注) 応募団体での受入体制や関係機関との連携状況等を具体的に記載してください。

第4の(1)の事業の応募者については、協議会等に属する構成員について5名以上の農業者(女性1名以上を含む)の氏名を記載してください。

### 3 女性就農環境改善のため実施している取組及び今後の取組

#### (1) 女性の就農希望者、新規就農者の呼び込みに向けた取組

内容	成果/目標	備考
<b>【実施中の取組】</b> 1) 新規就農希望者の研修、農業体験の受け入れ 2) 農福連携 3) 地域大学との連携 学生の圃場アルバイトの受け入れ  <b>【今後の取組】</b> 1) 新規就農希望者の研修、農業体験の受け入れ継続 2) 女性農業者活躍の情報発信(SNS等で発信) 3) 地域関係機関(県・市)との情報交換、求人依頼 4) 農福連携の継続 5) 地域大学との連携 学生の圃場アルバイトの受け入れ継続	1) 女性1名(2022.4時点) 2) 年間延べ100名(うち女性75名 2021年) 3) 年間延べ110名(うち女性90名 2021年)  1) 年間2名(目標) 2) 月1回(目標) 3) 年1回(目標)  4) 年間延べ約150名 5) 年間延べ約100名	

(注)「内容」欄には具体的な取組内容等を記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

#### (2) 女性の新規就農者の農業や地域への定着に向けた取組

内容	成果/目標	備考
<b>【実施中の取組】</b> 1) 女性農業研修生の個別相談の実施 2) 地域関係機関(県・市)での勉強会、研修会を通じた関係性・ネットワークの構築  <b>【今後の取組】</b> 1) 女性農業研修生の個別面談の継続 2) 地域関係機関(県・市)での勉強会、研修会を通じた関係性・ネットワークの構築継続	1) 月1回(2021.10より7回実施) 2) 2021.10より7回実施  1) 月1回実施(目標) 2) 年間12回実施(目標)	

(注)「内容」欄には具体的な取組内容等を記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

#### (3) 女性就農環境改善に向けた取組

内容	成果/目標	備考
<b>【実施中の取組】</b>	1) グループLINEで情報	

1) 研修生 OB との交流 2) 地域小学校の食育の事業に参画  【今後の取組】 女性作業員を交えての定期ミーティング	共有 2) 小学校敷地内ブドウ園の管理および作業体験のサポート	
1) 職場の環境改善について 2) 知識の点検について ジェンダー パワハラ セクハラ 等 3) 女性農業団体との交流 4) 研修生 OB との交流の継続 5) 地域小学校の食育の事業に参画の継続	1) 年 6 回実施 (目標) 2) 年 3 回実施 (目標) 3) 年 2 団体実施 (目標) 4) グループ LINE で情報共有の継続 5) 小学校敷地内ブドウ園の管理および作業体験のサポート継続	

(注) 農業委員等に選出された等、地域での活躍状況等を「内容」欄に具体的に、取組内容等を含め記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

#### 4 女性の就農環境改善対策事業を活用した取組の計画内容

##### (1) 働きやすい環境整備への支援

###### 【計画内容】

時期	内容 (対象者・方法等)	備考
2022.6 2022.9	バイオトイレの発注 バイオトイレの新設  【対象者：施設利用者】女性作業員 5 名以上 ①女性農業研修生 1 名 (2021.10～農業次世代人材投資資金活用 自営農業就業希望) ②農福連携女性作業員 3 名 ③地域大学連携の女子大生アルバイト ④パート女性作業員 1 名 (2021.1～専門学校山梨県立農業大学校職業訓練科卒 自営農業就業希望)  【方法】①バイオトイレを女性専用として新設。出荷作業場に併設。	

#### 5 女性農業者確保の目標

事業実施年度翌年度までの 女性農業者の新規確保人数	5 人
(新規確保女性農業者の内訳) 自営農業就業者 2 人、雇用就農者 0 人、アルバイト・ボランティア等 3 人	

(注) 必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

女性農業者は、新規参入者、自営農業就農者(結婚を機に就農された方含む)、雇用就農者、アルバ

イト、ボランティア等を含む農業関連事業従事年間 30 日以上の女性とします。  
農業関連事業とは、農産物製造・加工、農畜産物の貯蔵、運搬、販売、農業生産資材の製造、  
農作業の受託、都市住民等の農作業体験施設の設置・運営や民宿業を含みます。